

## 投稿の手引き (61 巻 3 号から適用)

## 論文の形式

1. 原著論文は原則として和文（英文）表紙，和文（英文）抄録，本文（緒言，材料および方法，結果あるいは成績，考察，結論），文献，英文（和文）表紙，英文（和文）抄録，付図説明の順に綴じ，表紙から通しページ番号をつける。原著論文以外の総説論文，症例報告なども，原則としてこれに準ずる。
2. 論文の構成
  - 1) 表題：簡潔に内容を表したものであること。副表題は数字のみでなく内容を表したものとす。
  - 2) 緒言：研究の背景や新規性，目的および研究の意義が明確に理解できるように記述する。
  - 3) 材料および方法：使用した材料や装置，あるいは方法を明確に記載し，同一の方法で追試が行えるように，わかりやすく記述する。また，実験条件の設定，試料の数や抽出法，統計処理等が，研究目的に合致していること。
  - 4) 結果あるいは成績：客観的事実のみを記述し，著者の主観を交えたような表現を避ける。計測結果は，平均値と標準偏差などの特性値を併記する。
  - 5) 考察：方法，結果などについて，従来の文献を参考に十分推敲を重ね，独断的にならないように，また論旨が飛躍しすぎないように注意する。さらに，研究目的に対する考察に的を絞る，総論的な考察は避ける。
  - 6) 結論：得られた結論のみを正確かつ簡潔に記述する。その際，緒言で提示した研究目的や仮説との整合性に注意する。
3. 原稿は A4 判用紙を用い，1 頁当たり 40 字×20 行，12 ポイントの文字で印字することが望ましい。余白は天地左右 25 ミリ程度とする。数字，欧文はすべて半角で入力し，英文における単語間は半角とする。外国人名および地名はなるべく原語とする。
4. 論文の形式は最新号の雑誌を参照すること。
5. 論文の内容に関する利益相反（COI）状態をすべて申告すること。
6. 英文による論文には，英文校正者（歯科医学の専門知識を有することが望ましい）によるネイティブチェックを受けたことを示す英文校閲証明書を添付する（書式は問わない）。

## 倫理規程

1. ヒトを対象とした研究（臨床・疫学研究）発表を行う場合には，ヘルシンキ宣言を遵守し，研究対象者および患者からインフォームド・コンセントを受けていること，また，所属機関の長もしくは長の委託する研究倫理審査委員会の承認を得ていること等の明記を必要とする。
2. 動物を対象とする場合には，「所属施設の動物実験委員会等の承認を得ていること」等の明記を必要とする。
3. 患者を研究対象とする場合は，「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に従い，写真，臨床所見および検査データなどの資料および対象者から得られた検体等の公表に際しては，原則として対象者である患者本人から承諾を得ること。また，発表資料等から研究対象者が特定されないことがないように，連結不可能な匿名化を行うなど個人情報の保護を徹底すること。
4. その他の臨床試料（ヒト抜去歯等）を用いた研究を発表する場合には，所属施設の研究倫理審査委員会の承認を得ていること等の明記を必要とする。
5. 疫学研究に関する発表は，「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に従ったものであること。その際は，研究対象者の人権およびその属するコミュニティに対する影響を考慮した上で論述すること。また，発表資料等から研究対象者個人が特定されないことがないように，連結不可能な匿名化を行うなど個人情報の保護を徹底すること。
6. ヒトゲノムあるいは遺伝子解析に関する研究の発表は，「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」および「遺伝子治療臨床研究に関する指針」に従ったものであること。また発表に際しては，資料提供者の尊厳および人権に十分配慮するとともに，社会に対する影響を考慮した上で論述すること。また，発表資料等から研究対象者個人が特定されないことがないように，連結不可能な匿名化を行うなど個人情報の保護を徹底すること。
7. 適応外使用の薬剤・機器あるいは国内未承認薬・未承認治療法の使用を含む症例発表については，所属施設に設

置されている関連委員会（倫理審査委員会、未承認新規医薬品等審査委員会等）において使用の承認を得ていること。

8. 再生医療等安全性確保法に定められている再生医療等技術を含む研究発表については、その法に従い患者に提供された技術であること。

### 表 紙

1. 和文表紙には、中央上段から和文による表題、著者氏名、所属機関名、責任著者連絡先、40字以内の略表題（ランニングタイトル）を記載する。
2. 英文表紙には、中央上段から英文による表題、著者氏名、所属機関名、責任著者連絡先を記載する。
3. 所属機関名と住所は和文・英文とも編集委員会に登録されているものを使用する。
4. 英文表題は冠詞、前置詞、接続詞などの付属語ならびに慣用の特殊語を除き、単語の先頭文字を大文字、以下を小文字で記す。また、ハイフンでつながる複合語の場合、ハイフンの後は小文字で記す。
5. 責任著者連絡先は、和文・英文とも著者1名の氏名・所属機関・住所・TEL・FAX・e-mailを記載する。

### 抄 録

1. 和文抄録は1,000字以内とし、目的、材料と方法、成績および重要な結論に分け、各見出しを付ける。最後に和文キーワード3語程度を記載する。
2. Abstractは400語以内とし、Purpose, Methods, Results, Conclusionに分け、各見出しを付ける。最後にKeywords3語程度を記載する。
3. Abstractは投稿者が十分に吟味し、必要に応じて英文校正者（歯科医学の専門知識を有することが望ましい）によるネイティブチェックを受けてから投稿すること。

### 本 文

1. 緒言、材料および方法、結果あるいは成績、考察、結論は、見出しの語で示し、それらには数字をつけない。
2. 文中の項目を細分する場合は1・2・3……、1)・2)・3)……、(1)・(2)・(3)……、①・②・③……、a・b・c……、の順によるものとする。
3. 文中の外国語（欧文）は下記の通りとする。
  - 1) 人名は、通常姓のみを記す。
  - 2) 製品名、製造者名を原語で示す必要があれば、単語の先頭文字を大文字、以下を小文字とする。  
原則として、和文による論文では「一般名（製品名、会社名、海外製品は国名）」、英文による論文では「一般名（製品名、会社名、都市名、（米国は州名、）国名）」のように記載する。なお、®や™などの商標登録表示は不要。
  - 3) 普通名詞は、ドイツ語およびラテン語の場合では単語の先頭文字を大文字、以下を小文字とする。英語およびフランス語の場合ではすべて小文字で記す。
  - 4) 学名二名法の場合は、属名の単語の先頭文字を大文字、以下を小文字とし、イタリックで記す。たびたび使用する場合は、2回目以後では属名を省略し、単語の先頭文字で表してさしつかえない。

例) *Streptococcus mutans* → *S. mutans*

- 5) その他の原語で示す必要があれば、慣用の特殊語を除き、すべて小文字で記す。
4. 文中の数字の取り扱いは下記の通りとする。
  - 1) アラビア数字(算用数字) 数量を示す場合
  - 2) 日本数字(漢字) 数字を含む名詞、形容詞、副詞など  
例) 第一大臼歯、一部分、二次齲蝕、二、三の、再三、四方、十二指腸、十数回
5. 単位は原則としてSI単位系を使用する。
6. 研究補助金についての記載、謝辞、その他の特記事項は結論の末尾に付記する。
7. COIのある場合、その旨を文献の前に記載すること。COIがない場合も「本論文に関して、開示すべき利益相反状態はない」などと記載すること。

## 文 献

1. 文献は、本文末尾に一括して引用順に記載する。
2. 本文中の文献呼び出しは、片括弧で、文の右肩に付す。2つ引用する場合は「,」で、3つ以上の場合には「-」でつなく。  
例：「著者ら<sup>3)</sup>は」「～ことが報告されている<sup>7,8)</sup>」「過去の研究<sup>10-15)</sup>では」
3. 記載例
  - a. 雑誌論文  
番号) 著者 (全員とする。共著の間は「,」で区切る)。論文題目。掲載誌名 発行西暦年;掲載巻:通巻ページの始-終。  
例：  
1) 山田太郎, 鈴木京子, 田中一郎. アマルガム充填に関する研究. 日歯保存誌 1994; 37: 2017-2022.  
2) Clark AB, Erickson D, Hamilton FG. Tensile bond strength and modulus of elasticity of several composite resins. J Dent Res 1992; 37: 618-621.  
英文による論文中で日本語文献を引用する場合は末尾に (in Japanese) を付す。  
3) Maruyama K, Han L, Okiji T, Iwaku M. A study on vital tooth bleaching. Jpn J Conserv Dent 2007; 50: 256-265. (in Japanese)
  - b. 単行本  
番号) 著者 (共著者)。書名。上・下巻。版数。出版社名: 出版社所在都市名; 発行西暦年。引用ページ。  
例：  
4) Phillips RW. Skinner's science of dental materials. 9th ed. WB Saunders: Philadelphia; 1991. 219-221.
  - c. 分担執筆による単行本  
番号) 分担者名。分担表題名。編集者名 (監修者名)。単行本名。上・下巻。版数。出版社名: 出版社所在都市名; 発行西暦年。引用ページ。  
例：  
5) 原 学郎. 保存修復学の歴史と目的. 勝山 茂, 石川達也, 小野瀬英雄. 保存修復学. 3版. 医歯薬出版: 東京; 1993. 3-5.  
6) Torneck CD. Dentin-pulp complex. Ten Cate AR. Oral histology. 5th ed. Mosby: St. Louis; 1998. 150-196.  
ただし、各分担者の執筆部分の記載が無い場合には、分担者名および分担表題名は記載しない。  
番号) 編集者名 (監修者名)。単行本名。上・下巻。版数。出版社名: 出版社所在都市名; 発行西暦年。引用ページ。  
例：  
7) 岩久正明, 河野 篤, 千田 彰, 田上順次. 保存修復学 21. 1版. 永末書店: 京都; 1998. 85-89.
  - d. 翻訳書  
番号) 原著者名 (原語)。翻訳者名 (訳または監訳)。翻訳書名。翻訳書上・下巻。原著版数。翻訳書出版社名: 翻訳書出版社所在都市名; 翻訳書発行西暦年。翻訳書の引用ページ。  
例：  
8) Martin DW, Mayers PA, Rodwell VW. 上代淑人. ハーパー・生化学. 24版. 丸善: 東京; 1997. 402-405.
  - e. その他の記述形式
    - ・学会抄録  
番号) 演者 (全員とする。共同演者の間は「,」で区切る)。抄録題目。掲載誌名 発行西暦年;掲載巻:通巻ページの始-終, 演題番号。  
例：  
9) Marais JT. Cleaning efficacy of a new root canal irrigation material. J Dent Res 1998; 77: 669, Abst. No. 300.
    - ・印刷中の雑誌論文  
原則として通常の雑誌論文と同様とするが、通巻ページが不明な場合は記載しなくてもよい。末尾に印刷中と記す。  
例：

10) Sato K. Effect of toothbrushes on gingival abrasion. J Periodont Res 1994; 29: in press.

・電子ジャーナル

原則として通常の雑誌論文と同様とするが、通巻ページが不明な場合は、DOIなどを明記する。印刷される前に電子ジャーナルで公開されているものは、出版年・月のあとに [Epub ahead of print] と記す。

例：

11) Sunada N, Ishii R, Shiratsuchi K, Shimizu Y, Tsubota K, Kurokawa H, Miyazaki M. Ultrasonic measurement of the effects of adhesive application and power density on the polymerization behavior of core build-up resins. Acta Odontol Scand; doi: 10.3109/00016357.2011.654252

・インターネットウェブサイト

発行元、記事名、ウェブサイトアドレス、(アクセス日)

例：

12) 厚生労働省. 平成23年歯科疾患実態調査 現在歯数および1人平均値, 歯種・年齢別 (5歳以上・永久歯). <http://www.mhlw.go.jp/toukei/list/dl/62-17c23-1.pdf> (2012年12月20日アクセス)

13) World Health Organization. Continuous improvement of oral health in the 21st century. [http://www.who.int/oral\\_health/en/\(cited 2005. 10. 1\)](http://www.who.int/oral_health/en/(cited 2005. 10. 1))

4. 掲載誌名の省略法は、原則として当該雑誌で規定されているものとする。

#### 図、表

1. 図、写真、表などは図と表に分類して番号をつける。用紙設定はA4判を用い、図・表1つずつ別頁にする。図表中に当該図表の番号を入れること。
2. トレースを希望する図は「要トレース」と余白に記載する。
3. 図・表は原則として英語表記とする。
4. 図・表にはそれのみで理解できるような説明をつける。図・表の説明は、付図説明としてまとめる。
5. 図をカラー印刷希望の場合には、カラーデータを、モノクロ印刷希望の場合には、モノクロデータを添付する。  
(画像データ作成上の注意点)
  - ・データ形式は、可能な限りjpgとする。
  - ・画像サイズはレイアウトに対応する大きさとし、画面解像度については写真の場合300 dpi以上、線画の場合1,200 dpi以上にする。
6. 雑誌ではモノクロ印刷とした図をJ-STAGEにおいてカラー掲載とすることも可とする。その場合は投稿時に申し出ること。なおJ-STAGE掲載用カラーデータの作成費は著者負担とする。ただし、J-STAGEのみカラーとした場合、付図説明等を追記することは雑誌掲載の内容あるいは体裁と異なるため認められない。図のカラー・モノクロの選択に関しては、同一の付図説明で可能かどうか著者自身が十分に検討したうえで判断すること。

#### 投稿原稿の送付

1. 原稿 (和文 (英文) 表紙, 和文 (英文) 抄録, 本文, 文献, 英文 (和文) 表紙, 英文 (和文) 抄録, 付図説明で1ファイルにする) は、Microsoft Office Word (以下 Word) 形式とする。
2. 図は、jpg または pdf とする。
3. 表は Microsoft Office Excel, jpg, pdf または Word 形式とする。
4. 投稿票・著作権承諾書、チェックリスト、投稿論文に関わる利益相反 (COI) 自己申告書、英文校閲証明書 (英文論文の場合) はスキャンし、画像ファイルで送付する。
5. ファイル名は、和文で「著者名」\_「大学名 (学部以下不要)」\_「原稿・図・表・投稿票」\_そしてファイル種類を表す「. 拡張子」とする。  
例) 日本太郎\_日本大学\_原稿.docx ; 日本太郎\_日本大学\_図.jpg ; 日本太郎\_日本大学\_表.xlsx ; 日本太郎\_日本大学\_投稿票.pdf  
なお、すべてを一括して、フォントを埋め込んだ pdf でも投稿可能とする。その際のファイル名は、日本太郎\_日本大学\_一括原稿.pdf とする。
6. e-mail の件名 (Subject) は、「日本歯科保存学雑誌投稿論文」とする。

7. 投稿原稿は、(一財) 口腔保健協会編集部 (の e-mail アドレス) : hensyu6@kokuhoken.or.jp に送付する。念のため CC (Carbon Copy) に、hensyu5@kokuhoken.or.jp を加えること。
8. ファイルサイズが大きすぎる等の問題のため e-mail 投稿が困難な場合は、FTP サーバ等を用いた投稿も可能とする。この際であっても、まずは e-mail で投稿の旨を連絡し、その際にファイルをダウンロードするサイト等を指示すること。
9. 日本歯科保存学会ホームページに設置してある日本歯科保存学雑誌投稿フォーム (<http://www.kokuhoken.or.jp/exterior/jscd/fileform/>) からの投稿も可能とする。
10. 投稿票・著作権承諾書、チェックリスト、投稿論文に関わる利益相反 (COI) 自己申告書の原紙を著者校正返却時に必ず同封すること。

#### 投稿票の記載について

1. 投稿票は本誌最新号に綴じ込みのもの、または学会 HP に掲載のものを使用する。
2. 論文タイトルは副表題があれば副表題まで記載する。
3. ランニングタイトル欄には論文内容を的確に表す略表題を 40 文字以内で記載する。英文は 2 文字が和文 1 文字に相当する。
4. 著者名が複数の場合も全員記載する。
5. 所属は省略せず、正式名称を記載する。
6. 別刷希望部数を記載する。
7. 連絡先は校正刷の郵送先を記載する。
8. 裏面のチェックリストにより、著者自身で投稿原稿内容の確認を行い、著者チェック欄にチェックする。その後、編集連絡委員のチェックを受け署名および捺印をうける。
9. 本誌に掲載された著作物の著作権の譲渡にあたり、著作権帰属承諾書に著者全員の署名、捺印 (外国人については捺印は不要) を行い、投稿原稿とともに提出する。

「投稿規程」「投稿の手引き」英文版を J-stage で公開しています。  
[https://www.jstage.jst.go.jp/browse/shikahozon/\\_pubinfo/-char/en](https://www.jstage.jst.go.jp/browse/shikahozon/_pubinfo/-char/en)